

- 1 会議名 議会運営委員会
- 2 日 時 平成29年10月25日（水）
開会 午後3時22分
閉会 午後4時25分
- 3 場 所 正・副議長応接室
- 4 出席議員 （委員長）須藤智子、（副委員長）大野慎治
（委員）塚本秋雄、鬼頭博和
黒川武議長、梅村均副議長、宮川隆議員、梶谷規子議員
- 5 欠席議員 （委員）木村冬樹
- 6 説明員 議会事務局長 尾関友康、同統括主査 寺澤顕
- 7 委員長あいさつ
- 8 議長あいさつ
- 9 協議事項

（1）平成30年度当初予算編成について

議会事務局長統括主査：資料に基づき説明

梶谷議員：議会サポーターは決定ではないと思うが予算化したのか。

議会事務局長：ほぼ実施するということである。

梅村副議長：支払金額の同意までは至っていないが。

大野副委員長：同意する。最終的に議会運営委員会での同意で良いか。

梅村副議長：そのとおりである。

宮川議員：議会だよりの残部数について、ふれあいトークや行政視察など必要になることが多いが増やさなくても良いのか。

黒川議長：毎回残部はどれほどか。

統括主査：200部程度である。

塚本委員：購読している新聞の値上げが予定されているが、それは1社か。

統括主査：そのとおり1社である。

塚本委員：食糧費は同額であるが、今年度実績か。足らなくならないか。

黒川議長：現在のペットボトルのお茶対応でどうか。

議会事務局長：今年度同額で提出したい。

宮川議員：ふれあいトークの会場使用料や飲物はどうするか。

黒川議長：公共性の高い内容なので、行政区との共催という考え方もある。

議会事務局長：執行機関が実施する説明会で飲物を出しているのかということ
ころである。議会だけ予算化するのは難しい。統一しないといけないと考
える。

塚本委員：執行機関と合わせよう。

大野副委員長：同意見である。

須藤委員長：執行機関と合わせるということで他にないか。

大野副委員長：議場システムの更新はいつ頃を見込んでいるのか。

統括主査：定例会と定例会の間に期間の確保できる時期、6月定例会後になるのかと考えている。これは私見である。

塚本委員：人件費は入っていないということで良いか。

統括主査：そのとおりである。人件費は一括して人事担当（秘書企画課）が予算化する。

梅村副議長：旅費の議会運営委員会等は、議運やその他どのような想定か。

統括主査：議会運営委員会の他に特別委員会や広報委員会を想定していると考えている。

須藤委員長：他に質疑はないか。

統括主査：この後、執行機関財政部局とのヒアリングになる。議会費については、本日、議会運営委員会に諮ってからの提出であることを伝えヒアリングに臨みたいと考えている。

梅村副議長：事務局職員の増員などもこの場で話し合われるのか。

議会事務局長：人件費に関することは人事部局で決定されていく。財政部局が職員の増減に関して決定するのではない。

黒川議長：議会事務局の調査法務機能を強めていくということで、必要があれば増員も求めていかななくてはならない。

須藤委員長：他に無いようなので、当初予算として提出していく。

（２）その他

議会事務局長：全国市議会議長会から厚生年金加入を求める意見書の提出についてのお尋ねがきている。昨年同様で未定という回答としたいがどうか。

塚本委員：全国の状況はどうか。

議会事務局長：全国では814市議会中320市議会が議決している。

大野副委員長：愛知県内はどうか。

議会事務局長：38市議会中14市議会が議決している。

大野副委員長：江南市議会はどうか。

議会事務局長：議決している。また、西尾張9市議会では、江南、稲沢、愛西、弥富市議会が議決している。

黒川議長：会派内でも議論いただきたい。今日のところでは未協議なので、昨年同様の回答とさせていただきたい。

4 その他

宮川議員：直接議会運営委員会に関係してこないが、議会報告会と意見交換会について、先日の選挙もあり日程的に厳しくなってきた。11月は全国都市問題会議や全国市議会議長会研究フォーラムも予定されている。各議員の日程をまとめて、11月中・下旬に議会報告会を開催したいと考えている。行政区との意見交換会は年明け1月中旬以降で設定したいと考えている。

須藤委員長：農業委員会とのふれあいトークの件もあったかと思うが。

大野副委員長：段取りは総務・産業建設常任委員会で行ったが、ふれあいトークとして開催することとなっている。

黒川議長：全議員による開催か。

大野副委員長：そのとおりである。

梅村副議長：農業委員会との意見交換会は、ふれあいトークとしてカウントするのは良いが、記録、司会、あいさつ等は総務・産業建設常任委員会で割振りされると思うが。通常のふれあいトークのように誰が何をという割振りでないとの解釈で良いか。

黒川議長：商工会との意見交換会のとおりと同様と考えていたが、全議員対象で市議会主催ということ、段取りは総務・産業建設常任委員会で行うということで解釈する。

須藤委員長：他に無いので終了する。